

2017年1月より新シリーズ刊行開始!

アジア仏教美術論集 【全12巻】

監修 宮治 昭・肥田路美・板倉聖哲

本体予価各 5,800 円+税

A5判上製カバー装 各巻平均 600 頁

**第一線の研究者らによるアジアの仏教美術研究の現在の到達点と
将来の課題を見通す待望の新シリーズ、堂々の刊行!**

本シリーズは、彫刻・絵画・工芸・建築などを含めた仏教美術が、アジア各地域・各時代においてどのような様相や特色を見せ、そこにいかなる問題が存在しているかを示すべく、地域・時代別に全12巻で構成する。様式論や図像学、年代論といった基礎的なアプローチはもとより、思想や信仰、社会や政治など、様々な分野と関わって生成、発展した様相を明かにすることを目指している。造形から何が読み解けるかという視点をもって、仏教学・考古学・歴史学・宗教学等と関連させながら、多様で豊潤なアジアの仏教美術に新たな光を当てていく。

各巻の論文は、国内の研究者のみならず、広く各国の第一線の研究者に執筆を依頼する。そこに見られる方法論の相違はまた、それぞれの国における研究の伝統と動向を映し出すものとなる。

本シリーズが、アジアの仏教美術に関する研究の現在の到達点を明らかにし、将来の可能性を拓く第一歩となれば幸いである。

(『アジア仏教美術論集』刊行にあたって)より抜粋)

第3回配本 (2018年1月)

中央アジアⅡ (チベット)

責任編集 森 雅秀

本体価格 5,800 円+税

A5判上製カバー装 本文 576 頁 ISBN 978-4-8055-1128-2 C3370



中央公論美術出版

お取り扱い

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-10-1
IVYビル6F

Tel: 03-5577-4797 Fax: 03-5577-4798

目次

『アジア仏教美術論集』刊行にあたって

総論 チベットの美術 森 雅秀

I 形成期のチベット美術

トリンにおける11世紀造立仏塔の供養者銘と図像についての予備的考察 エイミー・ヘラー (大羽恵美 訳)

四川・青海境界地域におけるチベット所伝の磨崖石刻彫像と題記の分析

—吐蕃時代の大日如来と八大菩薩の造像の起源に関する考察を兼ねて— 謝 継勝 (日高知恵美 訳)

北西インドからヒマラヤを越えた青銅仏 服部等作

II 壁画とマンダラ

ローマンタン・チャンパラカン2階の曼荼羅壁画について 田中公明

シャル寺の曼荼羅壁画について 川崎一洋

15世紀のチベット密教美術 —ペンコル・チューデ仏塔とコンカドルジェデン・イダム堂— 正木 晃

チベットのカーラチャクラマンダラ 立川武蔵

III チベット美術の諸相

五智如来に対応するチベット絵画(タンカ)の図像について クリスティアン・ルクザニッツ (マクローズキー芽衣子 訳)

北京故宮博物院所蔵「白上樂王仏」図像の来源 張 雅静 (山本恭子 訳)

多田等観請来「釈迦牟尼世尊絵伝」に関する考察 岡本健資

仏・菩薩におけるチベット式服制 大羽恵美

チベット絵画の色材と配合の知識 小野田俊蔵

IV ポン教の美術

ボン教の美術 三宅伸一郎

シュンラブ・ミボ伝図 津曲真一

V チベット仏教美術と歴史

ポタラ宮白宮・赤宮両宮にこめられた政治的・宗教的意味について 石濱裕美子

画像資料に見る日本人と「熱河」 —「大東亜」世界における「喇嘛教」空間— 高本康子

あとがき

執筆者・翻訳者一覧

全12巻(年2回配本)

責任編集

責任編集

【好評発売中】

中央アジアⅠ (ガンダーラ~東西トルキスタン) 宮治 昭

東アジアⅢ
(五代・北宋・遼・西夏)

板倉聖哲・塚本麿充

【最新刊】

中央アジアⅡ (チベット) 森 雅秀

東アジアⅣ (南宋・大理・金)

板倉聖哲

南アジアⅠ
(マウリア朝~グプタ朝) 宮治 昭・福山泰子

東アジアⅤ (元・明・清)

宮崎法子・森 雅秀

南アジアⅡ
(ポスト・グプタ朝~パーラ朝) 立川武蔵・森 雅秀

東アジアⅥ (朝鮮半島)

井手誠之輔・朴 亨國

【好評発売中】

東アジアⅠ (後漢・三国・南北朝) 濱田瑞美

東アジアⅦ
(アジアの中の日本)

宮治 昭・肥田路美・板倉聖哲

東アジアⅡ (隋・唐) 肥田路美

東南アジア

肥塚 隆